



国際会長 (IP) Ulrik Lauridsen (Denmark)

“Let Your Light Shine”

「輝かそう、あなたの光を」

会長 古田 和彦
副会長 秋元 美晴
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古賀 健一郎

アジア太平洋地域会長 (AP) 利根川 恵子 (川越)

“Be the light for change”

「変革のための光となろう」

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 立花 明美

東日本区理事 (RD) 山田 公平 (宇都宮)

“Instil Confidence in our Youth”

「未来のために今、学びと気づきを！未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

湘南・沖縄部部長 (DG) 黒川 勝 (金沢八景)

「初心に帰り、新たな船出を踏み出そう」

副題：「ワイズメンズクラブはYMCAとともに」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に仕えよう」

<今月の聖句>

秋元 美晴

主はあらゆる災いからあなたを守りあなたの魂を守って
くださる。

主はあなたの行くのも帰るのも守ってくださる。

今より、とこしえに。

(詩編 121 編 7-8 節) 『聖書協会共同訳』

今月のひとこと

『満開の桜』

古賀 健一郎



空爆の激しさが増しており、安全な場所はもはやどこにもありません。自宅の東西南北、あらゆる方向から爆音が聞こえ、パレスチナの子供たちが亡くなった親族の遺体のそばで泣き叫ぶ姿が目撃されています。(新聞記事

から引用)

ウクライナの子供たちは、空襲警報による勉強の中断や電気が使える間に勉強する厳しい状況、さらには歴史的な建

物や幼稚園への攻撃による深い心の傷を抱えています。(横浜市国際局でのウクライナ支援コーディネーターの話)

これら非合法で非人道的な武器による卑劣な方法は、人類の歴史における大きな負の教訓です。常に逃げまどう女性や子ども、高齢者といった弱者の姿があります。世界の全人口の4分の1、約20億人が紛争の影響を受けており、そのうち約4億2,600万人は子どもです。

私自身、幼少期に三菱重工長崎造船所近くの郊外で、畑や田んぼ、広い場所で暗くなるまで遊んだことを思い出します。それは私にとって人生最良の時でした。しかし今、世界中の子どもたちが恐怖に怯える現実を目の当たりにして、彼らのために何かをする必要があると強く感じています。

この春、横浜YMCAは「外国につながる子どもたちのための学習教室」として『YMCA こどもにほんごクラブ』を開催しました。これは、日本語の学習支援と多文化交流を目的としたプログラムです。国籍の異なる子どもたちと様々な年齢の日本人リーダーたちが一緒に学び、遊び、そして互いの違いを尊重しながら、小さな「多文化共生社会」を築いています。

特に盛り上がった2チーム対抗の「風船バレー」では、ウクライナ、インド、中国、スリランカ、日本の国籍の異なる子どもたちとリーダーたちが一つのチームを形成しました。その中でも、ウクライナでの戦火を逃れて来た小学生の女の子が、数年前の参加当初は日本語での意思疎通に苦しみ、暗い表情を浮かべていました。しかし、彼女は徐々に周囲とのコミュニケーションに自信を持ち始め、この日はチームメイトへの明確な指示を日本語で出すことができました。彼女が皆に声をかける姿は、参加者全員に大きな勇気を与え、見事なチ

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

ームワークでの勝利につながりました。この活動を通じて、彼女は明るく積極的に皆の輪に入り、その明るい笑顔は、互いに協力し合うことの重要性和、世界の人々との積極的な交流の価値を実感する素晴らしい時でした。

私たちの横浜 YMCA の活動は、子どもたち一人ひとりの笑顔が集まることで、悲しみの表情を希望に変えています。この小さなコミュニティから始まる変化が、地域社会を温かくし、最終的には世界中に波及することを願っています。私たちの活動が、平和でより良い未来への架け橋となることを信じています。

最後に、参加者全員が寄せた絵やメッセージで創り上げた「満開の桜」は、このプログラムの象徴であり、YMCA の理念を体現する体験です。「世界の人々と積極的に交流し、協力し合い、分かち合い、人間性の尊ばれる地球社会を創り出す」という精神が、参加した子どもたちを含む全員によって共有されました。この経験は、彼らが持つ希望と友情を象徴するものとなり、有意義な時間を過ごせたと確信しています。



全参加者が寄せた絵やメッセージで創り上げた「満開の桜」は、温かな交流の象徴です。

<2024年4月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
14名	メン 7名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 4名 ゲスト 0名 合計 11名	64% (メーキャップ 2名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 現金 年度累計 切手 現金	0g 0円 0g 0円

<5月の行事予定>

LT・ユース

日	曜	時間	行事内容	場所
17-18	金	10:00	横浜クラブ第一例会 つづきクラブと合同富士山一泊例会	富士山 YMCA (GEV)

23	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
25	土	14:00	横浜 YMCA 会員総会	関東学院関内

<4月第一例会報告>

秋元 美晴

日時：4月11日(木) 18:30~20:00

場所：横浜 YMCA 802教室+Zoom

出席者：秋元、大高、クロタカ マーク、クロタカ 明美、古賀、立花、古田、

ビジター：鈴木茂(つづき)、今城高之(つづき)、佐藤節子(厚木)、<Zoom>辻剛(つづき)

例会は、秋元ワイズの司会により定刻に開始。古田会長の開会点鐘、挨拶に続いて、ワイズ信条唱和。古田ワイズによる今月の聖句朗読とお祈り。ゲスト・ビジターの紹介。

【横浜クラブ入会式】

(1) 入会者：クロタカ マークさん、クロタカ 明美さん
★クロタカ マークさんとクロタカ 明美さんは、2023年8月の納涼例会に大高さんのご紹介でゲストとしてご出席くださいました。クロタカ マークさんは大高さんがアメリカ駐在中に担当していた仕事を繋いだ後任者でもあります。現在は愛犬とともに大船にお住まいです。

(2) 入会式

①立会人は、鈴木茂ワイズ(横浜つづき次期会長、横浜 YMCA 常議員会議長)、今城高之ワイズ(横浜つづき会長)、佐藤節子ワイズ(湘南・沖縄部会員増強事業主査、厚木クラブ会長)にお願いしました。

②古田会長が「ワイズメンズクラブ国際協会 入会式・式文」を朗読しました。③クロタカ マークさんとクロタカ 明美さんは、ワイズの入会式・式文に示された目的と意義を認め、この目的のために誠実に奉仕し、積極的に献身されることに、同意する旨の意志を表明されました。④国際協会ワイズメンズクラブを代表して心からお二人の入会を歓迎し、ワイズバッジが佐藤ワイズより付与され、お二人の入会を承認いたしました。⑤古田会長より記念品の贈呈。⑥入会者の挨拶。《クロタカ マークワイズとクロタカ 明美ワイズ》「以前からボランティア活動をしたいと思っていたので、横浜クラブの会員になれて皆さんと活動できるようになり、うれしい」⑦古田会長の挨拶で入会式を終えました。



宣誓するクロタカ マークさん、明美さん

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

【卓話】古賀ワイズの『私のYMCAとワイズ』と題してのお話でした。ワイズメンズクラブがどういう団体であるのかの説明のあと、古賀ワイズご自身が2015年11月に横浜ワイズメンズクラブに入会した理由が紹介されました。次にワイズメンズクラブはいつに楽しいかということ、1月の合同新年会から始まり、2月の横浜YMCA会員大会（ピースフォーラム）、7月のアジア太平洋地域大会（仙台）、8月の横浜クラブ納涼例会、9月の留学生日本語スピーチコンテスト、10月の横浜YMCAインターナショナルチャリティーラン、11月の横浜YMCAウェルカムフェスタ、12月の横浜YMCAクリスマス礼拝や、昨年の2023年6月の第26回東日本区大会（甲府）についてなど多くのスナップ写真を見せながら披露してくださいました。

古賀ワイズは、原爆被爆地である長崎に生まれ、幼少期のびのびと育ち、平和の尊さを身にしみ知っているため、戦争で傷ついた子どもたちの悲しい表情を、希望と笑顔で満ち溢れたものに変えるように、横浜YMCAで行っている【子どもたちへの絵本の読み聞かせ】や【横浜YMCAこどもにほんごクラブ】での外国にルーツをもつ子どもたちに冬休みの宿題の手伝いをするというボランティア活動において、力をそそいでいます。それは子どもたち一人ひとりの笑顔は世界の平和への一歩だと信じているからだということを情熱をこめて語ってくださいました。

【ビジネス・報告】

- ・5月17、18日富士山YMCA1泊旅行について、今城ワイズより説明があった。
- ・東日本区大会 5/31～6/1 於：帯広（現在の参加者：大高、古賀、立花、古田）
- ・6月例会：総会準備例会とする。報告資料の準備、次年度への課題等 例会日について
- ・ブリテン6月号編集計画（別添による）・次年度役員：原則として2023年度の役割を継続する。
会長：古田、副会長：秋元、書記：古賀、会計：大高、ブリテン：秋元（立花、古田） 事業委員：地域奉仕 齋藤、ユース 古賀、国際・交流 秋元、会員増強 古田・その他：4/16 9:00-10:00 「美しい港町横濱をつくる会」第27回一斉清掃参加（佐竹、古田、立花）
古田会長の閉会点鐘で終了しました。

2024年度横浜中央YMCA

キックオフミーティング 参加報告

古田 和彦

日時：4月5日（金）16:00～17:35

場所：9階チャペル

参加者：横浜中央YMCA各部門スタッフ（アフタースクール、健康教育、語学教育、専門学校、中区地域子育て支援拠点のんびりんこ）、横浜ワイズ（古田）、運営委員（富山）、NPO法人外国人すまいサポートセンター（ピョン）、スペシャルオリンピック日本・神奈川（山ノ内） 計約50名

定刻に、専門学校スタッフ山下忠司さんの司会で開始され

ました。開会礼拝では、2024年度基本聖句「知る力と見抜く力を身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり本当に重要なことを見分けられるように。」（フィリピ1:9-10）が読まれ、立花明美さん（横浜クラブ）が祈りをささげました。次いで、スタッフ以外で参加している各団体が紹介され、参加者がそれぞれ団体の活動について説明しました。古田は、ワイズの活動について、日本語スピーチコンテストを中心に外国人留学生支援を活動の柱にしている旨話しました。

その後、長田光玄館長から、新年度開始に当たって方針が示されました。それは、横浜YMCA VISION2024 第2期に基づく活動方針と、今年度各自の取り組み、目標設定にあたり、「YMCA」でどのような働きをするか、「誰」と「何」をするか、そうすると「どうなる」か、考えてほしいとのことでした。つづいて、4、5人ごとのグループに分かれて話し合いを行い、その内容は発表され全体で共有されましたが、大きいYMCAで横のつながりが薄くなりがちなので、所属を超えて交流することが大切であるとの意見が多くありました。閉会礼拝で、YMCA基本聖句（ヨハネ17:21）が読まれ、祈りを捧げて閉会しました。横浜クラブ参加者：立花、古田

「美しい港町横濱をつくる会」

第27回一斉清掃参加報告

古田 和彦

4月16日（火）8:45、中央YMCA入り口にスタッフ30名ほどが集まり、神奈川新聞社前に移動しました。9:00、年2回行われていて、今回27回目となる「美しい港町横濱をつくる会」主催の清掃活動の開会式が行われました。YMCAのスタッフだけでなく、地元企業の方々も加えて、60人ほどが参加しました。代表者の方の挨拶では、同じゼッケンをつけて関内地区の清掃を行うことで、地域の皆さんにこの活動を知ってもらい、ごみの分別・減少の契機としてもらいたいとのことでした。約1時間ゴミ拾いをして、再び神奈川新聞社前に集まり、写真撮影をして9:50終了しました。集めたごみはそれぞれが持ち帰りました。

参加した感想として、総主事はじめ一番多くのスタッフをYMCAが派遣して中心的に働いていることに誇りを感じましたことと、20年以上も清掃活動を続けていることは素晴らしいことだと思いました。私としては、ワイズが定めるW4W（Week for Waste）の一環としても活動でき、これを契機にゴミ撲滅についてさらに関心を深めたいと決意した次第です。横浜クラブの参加者：佐竹、古田

近況報告



田口 努

2020年3月に横浜YMCAの総主事を退任し、その後は同盟の総主事としてはやいものでもう4年という任期が過ぎました。昨年、2年間の延長が承認され、2025年度末までの在職が決まりました。新型コロナの

世界的なパンデミックの中で同盟の総主事として様々な経験をいたしました。2023年3月末までの中期計画の基本聖句「光は闇の中で輝いている」は、これはYMCA自身が輝くのではなく、困難に直面している人々の賜物を輝かすことで、YMCA自身も輝くという思いで掲げられたものです。コロナ禍の中で、「はなれていても、つながっている」というキャンペーンや募金活動を行いました。その成果として、物資提供を含む3億円規模のポジティブネット募金が集まりました。YMCAのための募金ではなく、困難にある人へのYMCAの働きのためとして、全国のYMCAの働きに共感をしてくださったことによると思っています。

同時に、2022年から続くウクライナでの戦争による避難者支援も行ってきました。この支援は当初、ヨーロッパのYMCAとの連携ではじまり、日本に170名を超える避難者を導くことができました。YMCAグローバルネットワークがその支援の土台となりました。現在も全国のYMCAでは、日本語学習、生活、就労、就学支援、雇用など、様々な形で日本に避難した最大2500名のうち1600名のサポートを行っており、これは国内最大規模の支援活動です。ウクライナ支援募金は2億円を超え、YMCAの活動に共感して下さる方々や企業、団体からの支援が今も続いています。

4月30日に行われたワイズメンズクラブ富士山部が支援してきた静岡YMCAの50周年記念行事でも、ウクライナ支援に50万円の寄付が寄せられました。今年は元旦の能登半島地震に際しても、全国から3000万円の募金が集まりました。また、1月8日から3月末までの金沢市内の1.5次避難所や、現在も継続中の輪島市町野町の東陽中学校避難所の支援を行っており、4月末からはボランティアの受け入れも開始しました。5月の連休には、神戸や石巻広域ワイズなどの合同チームが避難所での炊き出しやカフェのボランティアに入っています。

ワイズメンが避難者支援に駆け付ける姿は大きな励みとなっています。パレスチナやガザ支援の募金活動も継続しており、直近では2回目のオンライン祈祷会も行っています。ある大学の院長がご自身のことを「私はマドラーのようなものだ」と例えられました。幼稚園から、学校まで訪ね歩き、学校のミッションを伝え、各学校を一つにつなげるよう、かき混ぜる役割だからとの説明でした。私はその言葉に共感し、同盟総主事として、全国のYMCA運動をつなげるために、できる限り訪問活動を行っています。この1年間で、鹿児島から北海道まで国内はもとより、インドチェンナイ、モンゴル、マレーシア、上海、韓国済州などを巡りました。それぞれの場所でさまざまなエピソードがありますが、次回の報告ではその一部を共有したいと思います。

日時：4月25日(木) 17:00~18:20

場所：Zoomによる開催

出席者：秋元、古賀、立花、古田

協議・確認・検討事項

1. 行事予定

・資料により6月までの予定が示され、了承した。

2. 協議・報告事項

(1) 5月富士山例会(5/17-18)について

つづきクラブに合流する。

5/17日(金) 午前10時、市営地下鉄「センター南駅」集合、バスで出発。昼食は駿河湾 沼津SA。

13:15 富士山着。14:00 オリエンテーション、

14:30 「YMCAのキャンプ事業について」(三上さん)

16:30 自由・散策 17:30 バーベキュー準備

18:00 夕食(バーベキュー) 20:00 後片付け、ホールに移動

20:30 懇親会

5/18日(土) 6:00 起床 7:30 早天礼拝 8:00 朝食

9:30 出発 観光(白糸の滝など) 12:00 東山荘・昼食 東山荘の紹介(館長)

14:00 東山荘発 観光

17:00 帰着。会費は1万6千円程度

*参加者:(バス)秋元、大高、古賀、齋藤、古田(自家用車・17日のみ)立花

(2) 東日本区大会 6/1 於:帯広

参加者:大高、古賀、立花、古田

バナーは古田が持参、現地集合解散とし、個別の計画による。

(3) 6月例会

総会準備例会とする。総会資料作成の分担を決めた。

表紙、全体まとめ、資料4、6、7 古田

資料1、2、3 秋元 資料5、9 大高 資料8 古賀とし、5月第2例会までに素案をまとめることとした。

(4) ブリテン5月号編集計画

別紙資料により確認。美しい港町横濱をつくる会第27回一斉清掃報告を加える。

(5) とつかクラブについて、懇談した。

(6) 8月納涼例会について

日程:8月22日(木)18:00開始 他クラブ・ゲストに呼びかける

場所:カフェドゥラプレス(アルテリーベ経営店)

横浜市日本大通り14 KN日本大通りビル2F

会費:7,000円とする。

費用:食事・飲み物含みで6,600円

今後の検討:ゲストの会費(値下げするかどうか)、アコーデオニストかチェリストを呼ぶことは可能(3万円)だが、呼ぶかどうか。



担当主事 立花 明美

学生や会員、メンバーの皆さんも、4月よりYMCAでの活動が始まり、また新しく仲間となった教職員の方々も各々の職場で業務を始めて1か月がたったところです。新しいことで、それぞれ戸惑うこともあります。が、チャレンジしていく事を忘れず前に進みたいです。

- 4月1日(月) 横浜YMCA入会・始業式
- 4月2日(火) 横浜YMCA専門学校合同入学式
- 4月3日(水) アフタースクール新1年生交通安全教室
- 4月4日(木) アフタースクール Y's 絵本読み聞かせ
- 4月5日(金) 横浜中央YMCAキックオフミーティング
- 4月16日(火) 美しい港町横濱をつくる会 清掃活動
- 4月21日(日) アンガーマネージメント講演会
- 4月24日(水) 横浜YMCA学院専門学校国際情報ビジネス科学生 富士山Y1泊研修
- 4月29日(月) 健康教育部 ヘルシーキッズデー

5月例会プログラム

日時: 5月17日(金)10:00-18日(土)17:00

場所: 富士山グローバルエコビレッジ (GEV)

<17日>

- 1. YMCA/ワイズ理解.....鈴木茂ワイズ
- 2. YMCAとキャンプ事業.....三上淳 GEV 場長
- 3. キャンプサイト散策.....全員
- 4. バーベキュー(夕食).....全員
- 5. 懇親

<18日>

- 6. 早天礼拝.....古田ワイズ
- 7. 観光地巡り.....全員
- 8. 東山荘(昼食).....全員

例会報告: 大高ワイズ

6月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
1	土		東日本区大会	帯広
4	火	19:00	第102回Y-Ys協議会	中央YMCA
13	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央YMCA
22	土	15:00	第3回部評議会	とつかYMCA
27	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花 明美にご連絡下さい。

メール tachibana_akemi@yokohamaymca.org

電話 045-661-0080

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★